

アジアの環境研究入門

古田元夫・監修
卯田宗平・編

か、都市の大気汚染はなぜ解決されないのか——などテーマは多彩。

副題は「東京大学で学ぶ15講」。同大助教らが環境に関する最新の研究を学生と共有するために講義、その内容を収録し

グローバルな思想がローカル

た。編者は環境研究を「我々とまわりにあるものとの関係」と大きく捉える。そして、多くの課題や現状理解、解決のための手法や研究を学者・学生らで共有することを目的に出版した。

な現場に与える影響や、一部を除けば環境研究には全ての人が同意する「絶対解」はなく、より多くの人が支持する「最適解」を探すことが重要だと提言する。多くの講師が、幅広く難しい内容を分かりやすく解説している。

トンガ人はなぜ太る、濁った海は汚いのか、杉は河川の生物にとって悪者か、グリーン・ツリーズムは地域再生に役立つ

円)
(東京大学出版会、3800

